

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和7年7月11日（金）南日本新聞

令和7年7月11日（金）付け南日本新聞11面に3Aの「さつまファームレディ倶楽部現地交流会」についての記事が掲載されましたので、紹介します。



花の女性農家 高校生と交流

さつま・薩摩川内

薩摩川内市とさつま町の女性農業経営士でつくる「さつまファームレディ倶楽部」の花育部会が、薩摩中央高校生物生産科の3年生6人を会員の農園に招待した。生産現場を案内しながら、仕事のやりがいや苦労を紹介して交流を深めた（写真）。

現地交流会は地域の花き生産の現状を伝え、担い手育成につなげようと毎年開く。今年は4日にあり、輪ギクなどをつくる假屋農園（薩摩川内市）と、ブライダル用葉物類を生産する南原農園（さつま町）を紹介。

多様化する消費者ニーズを見極めて品種を調整する経営手法や、栽培管理の工夫などを伝えた。

同科の前田来夢さんは「墓じまいが増えてキクの需要が減っている実情や林福連携など初めて知ることも多く、勉強になった」と話した。

（山田天真）